

## NHK全国俳句大会

# 4歳島津さん(福井)入賞



本年度のNHK全国俳句大会で、仁愛女子短大附属幼稚園(福井市)の島津花実さん(4)＝同市＝の作品「はるになってひこうきがおおきくみえる しまづはなみ」が秀作に輝いた。入賞者の中では島津さんが最年少。今大会からジュニア、一般の区分がなくなり、幼児に

### 最年少で快挙

NHK全国俳句大会で入賞した島津花実さん＝福井新聞社

とって入賞はさらに難関となっていた。島津さんは「選ばれてうれしい(今後は)幼稚園の劇やクリスマス(の俳句)を詠みたい」と笑顔で話していた。

大会はNHKとNHK学園の主催で今回が22回目。島津さんの作品は「はるになつてひこうきがおおきくみえる」など、外で遊ぶのが好きな活発な子という。NHK学園によると、記録が残る過去5年間の福井県勢の入賞者では、2017年にジュニアの部で秀作となった小学3年生が最年少だった。(塚本剛史)

## 春の散歩 思い表現

「はるになってひこうきがおおきくみえる。好天の日に、散歩していた飛行場近くの公園で詠んだもの。飛行機が大きく見えたことを表現したという。大会には全国各地の約2万人から4万1444句の応募があった。今年1月、13人の著名な俳人が、それぞれ特選3句と秀作25句を選び、さらに特選の中から大賞3句を選出した。応募、入賞共に60代以上の世代が半分以上を占めていた。島津さんの作品は、散歩時につぶやいた言葉を一緒にいた家族が書き取り応募した。島津さんはよく自宅